地球温暖化防止の為に、国内の木材（国産材）を積極的に利用。

地球温暖化防止の為の環境対策

SDGs

持続可能な開発目標（SDGs）

住宅情報館では、世界レベルで意識が高まりつつある環境保護の視点に立った「環境と調和する、エコロジーな家づくり」がわたくしどもに課せられた使命であると考えます。次世代省エネルギー基準を満たした「暮らしやすさ」と「エコロジー」が共存する住まいの提供を通して国連の推進するSDGsの達成に取り組んでまいります。

住まいの断熱性を高めること、これこそがエコロジーの原点。

住まいの温熱環境を高めることで、省エネに寄与するという考えです。当社の建物は、床下・壁・天井に高性能な断熱材を使用した充填断熱工法により、省エネルギー性能は一次エネルギー消費量等級5※です。住まいの断熱性を高め四季を通じて快適な空間を実現します。　※異なる場合があります。

再生可能な資源 ”森林”を有効活用

十分に成長した国産木材を計画的に伐採し、若い苗木を植林する森林本来の循環システムが整った時にはじめて健全な森林の維持が可能になります。こうした観点に基づき、当社では森林資源の循環を活発にする「森林管理」と「計画伐採」など、人と地球にやさしい活動を積極的に推進しています。

当社が行っているさまざまな環境対策

社会貢献

岡山県鏡野町「企業の森」事業に参画

企業の森とは、行政と企業が連携して森林整備に取り組む、環境保全や花粉対策、地球温暖化防止を目的とする活動です。岡山県鏡野町の「企業の森」は、岡山県と岡山県鏡野町と協働して行う森林づくり事業で、鏡野町森林整備計画に基づき、同町にある山林約4.26ヘクタールのうち1.0ヘクタールに植栽して森林整備を行います。

温暖化対策

山林利用で地球温暖化防止に貢献

今、地球温暖化防止のため森林の活用が重視されています。森林は、温暖化の原因である二酸化炭素を吸収して大気中の温室効果ガスを減少させる働きがあります。国内の木材(国産材)を積極的に利用することで計画的な植林、育成、伐採の繰り返しが行われ、常に活性化された森林が機能を発揮します。さらに、木を植えることは土砂災害の防止にも役立ちます。当社では国内の木材利用を通じて地球温暖化防止に協力しています。

森の循環

木を伐り木を植え森林を活性化

木はある程度成長すると二酸化炭素の吸収能力が低下します。成長した木を放置してしまっては温暖化防止にはなりません。大きく育った木を伐採し、その後には苗を植え、また育てる。この繰り返し「森の循環」が大切なのです。

CO_2削減

耐力面材 novopan STPⅡは 地球に優しいリサイクル商品

廃木材は焼却すると温室効果ガスである二酸化炭素を排出します。マテリアルリサイクルされている novopan STPⅡは、廃木材の焼却により発生する二酸化炭素の排出を回避しています。焼却処理に比べて1.47トンの削減効果があります。